

平成二十二年度「生涯学習推進協議会会員活動発表会」

11月27日土曜日、過去最高の一〇〇名を超える参加者で盛大に開催された。

今年の発表会は人数も最多であったが、老若男女入り乱れた発表会で下はダンス魂の小学生から、最高齢は大正生まれのご年配までさすが「生涯学習」一学生が生涯現役を感じる内容でした。

それでは、掻い摘んで今年の発表や展示を紹介させて頂きま

す。
 司会は昨年同様にメタボおじさんの私、澤口が汗をハンカチで拭きながら担当させて頂きました。

まずは、谷川会長が挨拶で生涯学習の意義をお話されました。いよいよ発表、先陣は江別保健所管内栄養士会尾澤さんから、一日三食の大切さ特に朝ごはんを食べましょうとお話をされてきました。また、尾澤さんはこの会員活動発表会の担当理事でもあり準備の苦労より参加頂いた方々へ感謝のお礼を付け加えていらっしやいました。

続いて、江別家庭生活力カウンセラーグループ江畑さんから江別のカウンセリングの状況や内容についてお話がありました。



今年の発表は各団体の活動内容のお話や、毎年発表頂いている、江別芸能赤十字奉仕団の皆さんの民謡・舞踊。
 3B体操江別サークルのテープを用いた体操
 子ども文化ネットワーク・江別やおはなしなあにの子どもたちの喜ぶ展示など多くあり、どれも素晴らしいものでした。
 また、カフェエえくぼのブースでは、多くの方が立ち寄り楽しい買い物をしていたようです。
 後半はダンス魂のリズミカルなストリートダンス、大トリは



江別まつことええ&北海道情報大学、この団体は、6月に行なわれる「よやくい」に毎年ファイナル出場する演舞を披露していただきます。
 江別認知症の人の家族を支える会の三井副会長が閉会の挨拶があり、後片付けを参加者全員で行ない無事終了いたしました。なお、江別市生涯学習推進協議会のホームページに、各団体の詳細が掲載されています。市民の皆様のご参加をお待ちしています。



「平成二十二年加盟団体代表者会議」開催報告

総務委員 古川 淳子

11月27日(土)午後5時より市民会館21号室において今年度の代表者会議が開催されました。

午後1時30分から一会員活動発表会があり、準備を含め一日がかりの日程になりましたが、69団体会員のうち26団体の代表者が出席しました。

- 出席団体はジャンル別に
- 教育関係 4
 - 芸術・文化関係 3
 - スポーツ関係 5
 - ボランティア関係 6
 - 自治・福祉関係 2
 - 市民生活・国際交流関係 6
- となっております。



谷川会長の挨拶に続き小林生涯学習課長にご挨拶を頂き議事に入りました。

会長が協議会の組織及び今年度の活動方針の説明をしました。次に団体の活動紹介ですが、予め書面で団体の活動調査表が提出されていたので、それに基づき各団体が発表しました。発表の内容は団体の活動方針、

目的、実施した事業、今後予定している事業などが話され、今後の課題としては多くの団体が事業への参加者の減少を挙げていました。また、会の運営に欠かさない会員、収入の確保が大きい課題になっていることも資料や発表の中で話されました。

代表者会議の目的は各団体の活動状況及び協議会の運営や事業について意見交換を行うことにあります。

その点で、今回の会議では団体から団体へ協力し合える活動の働きかけがあり、一堂に会して話し合うことによって、お互いの活動の内容が分かり合えたのではないかと思われます。書面の報告だけでは足りない部分を直接話し合うことで補い、より充実した会議になりました。



55周年記念演奏会を終えて



開演時からたくさんの方々がお来場下さり、去る10月5日江別混声合唱団の55周年記念演奏会が、盛会のうちに終演することが出来ました。観客の皆様には、最後までお聞きいただき、本当に嬉しく思っております。

全員が歌をマスターすることに心をひとつに合わせ、成果を出せるように頑張ったことが、大きな演奏会を成し遂げることにつながったのだと思っております。



今回の演奏会で最も苦労した曲は、それぞれ違っていると思いますが、全体的にはやはり、ラテン語で「戴冠ミサ」曲の中の「フレド」の曲がとても速くて、始めは口がまわらず四苦八苦したものです。又、「雪やこんこの練習中の時です。「ネーロ」はこたつで丸くなる」と歌ったとたん、今のは「バーサン」がこたつで丸くなる

にしか聞こえません。と先生の言葉。思わずニヤニヤニヤ……。その姿を思い浮かべながら、頭の中に自分の姿も重ね合わせたからです。先生の繊細で熱の入った練習の中にも、巧みな会話が入ったり、時には私達が自然に顔をほころばすようなお話もあり、この演奏会まで楽しく歌ってききました。



合唱は、音楽が好きで、歌うことが好きな方、又は興味のある方であれば、誰でもできると思います。歌うことの素晴らしさを、多くの方に共感していただければと思っておりますので、どなたでも是非一度、一緒に歌って見て下さい。



今後は、これからの目標をしっかりと認識して、新たな気持ちで歌って行きたいと思っております。

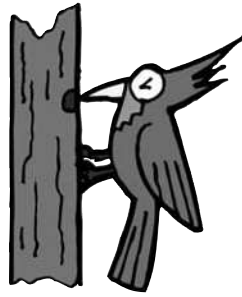
江別混声合唱団
代表 大嶋英子



「秋の自然観察会」に参加して

秋のゆつくりとした訪れを思わせる10月17日(日)野幌森林公園大沢口を集合場所として当協議会主催の「秋の自然観察会」が催されました。

当日は江別市民のみならず札幌からの参加者もあり、「原始林」の持つ魅力を再認識しました。



この日の感想を、現役時代には毎日「原始林」を歩いていた、という大麻在住の山田四郎さんにお話を伺いました。

***参加されたきっかけは何でしょうか？**

江別市の広報に掲載された観察会の記事ですね。これまでも2回ほど参加していますので記事を見たときにはすぐ申し込み thought と思いました。

***当日の集合時間は8時50分、早すぎませんでしたか？**

朝は5時頃起床しますから早くないですよ、現役頃の頃のように、自宅から45分かけて、集合場所に行きました。ちょうど良いお天気で、汗をかくほどでもなく

よい時期でした。

***歩いた距離や、速さ、印象的なことなどはいかがでしょうか？**

身近な存在の「原始林」をよく歩いたものでしたから、距離や速さなどは特にには気になりませんでした。

説明をしてくれる方が時々立ち止まりながら木の樹齢、虫、木の葉、小鳥について実に細かく教えてくれて新発見が色々あって、面白かったですよ。また、「立ち止まる」ことで100年を超



えて存在している大木や、枝ぶり、その枝や林を通してみる青空の美しいこと、気持ちの良い時間でした。

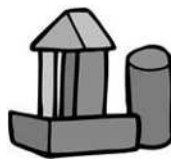
次回も参加したいと思えます。
***お忙しいところ、有り難うございました。** (談)



❁ 講演会のお知らせ ❁

江別生涯学習インストラクターの会では、市民の皆さんが主体的に自主的に学ぶ機会を提供するために、生涯学習推進協議会からの支援を受けて今年度は、3回の講演会を予定しています。

第2回目目の講演会は、長年にわたり幼児教育に携わり、幼児とその毎日の中で得られた教育、子育てなど多くの経験をお話していただくことと考えました。昨今、中高生だけでなく小学生までが、死を簡単に選んでしまう環境は正しいものとはいえません。子どもを取り巻く家族や社会のあり方大人たちの責任等多くのヒントを教えてくださいたいと思います。是非沢山の方のご参加を！



テーマ 「子どもの心を健康にする詩(うた)」

講師 大麻第二幼稚園

園長 安藤 陽子 氏

日時 平成23年1月19日

午後1時～3時

場所 野幌公民館 研修室

● 問い合わせ ●

江別生涯学習

インストラクターの会

事務局長 浦島 忠勝

電話(011)383-5009

市内公共機関にポスターなどにご案内いたします。

また、第3回目目の講演会につきましても改めてご案内いたしますので、ご参加をお待ちしています。

第25回洋舞フェスティバル

11月3日(水)、第25回洋舞フェスティバルが江別市民会館で開催されました。

一部は初参加2団体を迎え6団体によるジャズダンス。華やかな舞台は立ち観も出る大盛況でした。



二部はフラダンスとバレエの4団体が優雅な踊りを披露しました。

舞台を支え奔走された大勢の係・代表の皆様には感謝でいっぱいです。

新保真由美

第57回江別市民文化祭 「第60回江別市菊友会菊花賞」

恒例となっている江別市菊友会の第60回菊花賞が市民文化祭の日程に合わせ11月1日(月)から3日(水)までコミセンを会場に開催された。

今回は役200鉢の菊花が展示され、3日間で役800人の来場者が訪れ賑わいました。



そっだー野幌商店街へ行く

子ども達の笑顔と歓声でいっぱい！ ハローウィンフェスティバル

10月30日、土曜日、野幌商店街でハローウィンフェスティバルが行なわれた。

晩秋とは思えないほどのポカポカ陽気のなか、開始前から、思い思いの仮装をした子どもたちが集まってくれた。

このハローウィンフェスティバルは、平成14年から実施しているもので、子どもたちが商店街のお店を訪れながら、「ハッピーハローウィン」という合言葉を言うとお菓子をプレゼントしてもらえる指向となっている。

数年経過した時、店主たちは、ふと考えた・何で子どもたちだけ来るんだろうか？

大人が来ないと、商品が売れないし活気も今一つ足りない！

思案の末、店主たちが考えついたのが、子どもたちの「仮装コンテスト」だった。

趣向を凝らした仮装で集まると、おとうさん・おかあさん・おじいちゃん・おばあちゃんまでが孫の写真を撮りに来る。市内外から600人ものお客さんが、この商店街に来てくれるまでになった。

商品の売れ行きは別にして、これが本来のイベントの姿なのかも知れないと店主たちは思った。

野幌商店街振興組合のまちづくりへの挑戦は続く……

プロジェクトX編集部

【ハローウィンフェスティバル内容】
☆フントーンデザインコンテスト：
ハローウィンカボチャに細工をしたランタン

☆子供たちからの贈り物：
ハローウィンカボチャの絵の展示

☆パンキンマンを探せ：
パンキンマンを探し当てるとシールゲット

☆店舗ディスプレイコンテスト

【各種イベント】

☆クリスマス・ウィンドウ・ディスプレイ (12月)
☆雪あかり (2月)

【主な取組】

☆カーシェアリング
☆地域通貨(アトム通貨)



短詩型三部門交流大会

今年も、短詩型三部門交流大会が開催された。兼題を設けて短歌、俳句、川柳で発表するという珍しい企画が20年を超えて交流している。携わる人たちの熱意がそれを支えている。市民の皆さんも楽しみませんか？

(文化協会 文芸部門から)



《あとがき》

日に日に寒さが増し着る物も厚くなって来て動きも鈍くなってまいりましたが、さららの発行は順調です。皆様の活動報告も新鮮なものをと工夫をこらしています。これからも皆様へ楽しい情報を伝えたいと思います。よろしくお祈りします。

丹野 幸子